

令和4年9月29日

東日本高速道路株式会社 北海道支社

冬季の高速道路の安全な交通確保のため 24時間体制の気象・道路状況把握と除雪作業を開始 ～雪氷対策出陣式を全道5か所の管理事務所で実施～

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、令和4年10月16日から令和5年4月30日までを「雪氷対策期間」と位置づけ、24時間体制で気象・道路状況の把握と除雪作業を行い、安全な交通確保に努めます。

雪氷対策期間が始まるのに先立ち、冬季の高速道路の交通安全と雪氷対策作業の無事を祈願する「雪氷対策出陣式(安全祈願祭)」を、下記のとおり全道5か所の管理事務所で行います。

お客さまには、冬用タイヤの装着などの冬装備をお早めに行っていただくとともに、雪氷対策作業へのご理解とご協力をお願いします。

1. 雪氷対策出陣式(安全祈願祭)の日時

日時	場所	参加人員・作業車数	管理事務所名
10月 7日(金)10:00～10:30	道央道 札幌JCT	約50名・約15台	札幌
10月 7日(金)10:00～10:30	道央道 北広島IC	約50名・約15台	北広島
10月14日(金)11:00～11:30	道央道 室蘭IC	約60名・約30台	室蘭
10月14日(金)13:15～14:15	道東道 音更帯広IC	約70名・約10台	帯広
10月18日(火)11:00～12:00	道央道 旭川鷹栖IC	約60名・約30台	旭川

※雨天の場合は、車庫などで行います。



出陣式の様子(無事故を願う神事を行います)



高速道路での除雪の様子

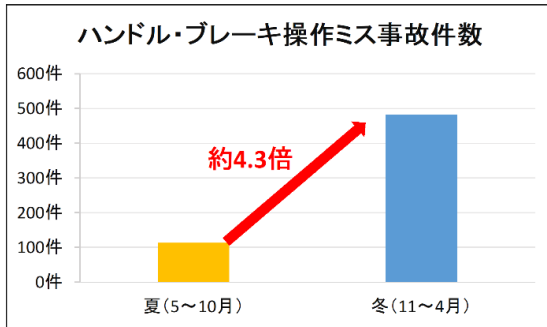
※取材を希望される場合は、実施日の前日までに、各事務所窓口にご連絡ください。当日は、開始時刻の10分前までに、会場の管理事務所の受付にお越しください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、取材時はマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。

2. 交通事故と降雪の状況(詳細:別紙1)

北海道内の高速道路では、ハンドルやブレーキの操作ミスを原因とする交通事故の件数が、冬季は夏季の約4.3倍となっています。気象・路面の状況に応じ、夏季よりスピードダウンするなど、余裕を持った安全運転を心がけ、冬用タイヤの装着などの冬装備をお早めに行ってください。NEXCO東日本北海道支社公式Twitterアカウント([@e_nexco_kita](https://twitter.com/e_nexco_kita))では、ユニークな交通安全啓発動画も配信しています。

昨シーズン(令和3年10月～令和4年4月)の北海道内高速道路の各観測地点における平均累計降雪量は、約435.9cmでした。最も観測した降雪量が多かった地点は、道央自動車道・金山トンネルで、累計降雪量は999.3cmでした。



対象期間: 令和3年5月～令和4年4月(当社調べ)



ユニークな交通安全啓発動画の抜粋

NEXCO東日本北海道支社
公式Twitterアカウント([@e_nexco_kita](https://twitter.com/e_nexco_kita))



3. 除雪作業に関するお願い

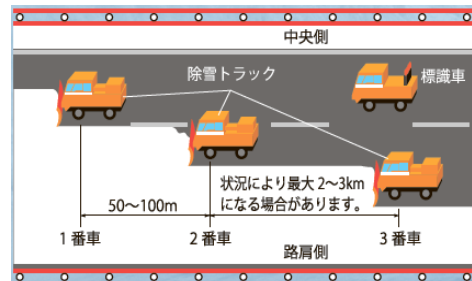
① 除雪車の低速走行にご協力をお願いします。

路面上に降り積もった雪が踏み固められる前に、除雪トラック3台と標識車1台の組み合わせにより、時速50km以下で除雪作業を行います。

速度を落として車間距離を十分に確保し、除雪車両に追行してください。

高速道路ならではの除雪方法については、

[別紙2](#)をご覧ください。



除雪トラックと標識車による除雪のイメージ

② 凍結防止剤散布作業車の追い越しにご注意ください。

路面凍結が予測される場合、事前に凍結防止剤を散布します。

散布中の作業車を追い越す際は、凍結防止剤が車にかかる恐れがありますので、十分ご注意ください。

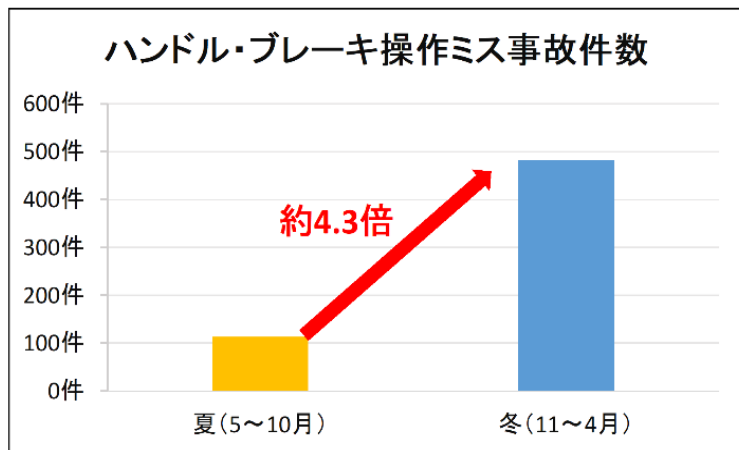


凍結防止剤散布の様子

③ 天候が回復しても路面状況により、除雪、凍結防止剤散布、路肩部排雪などの作業を行うことがあります。

ご理解とご協力をお願いします。

(1)交通事故状況



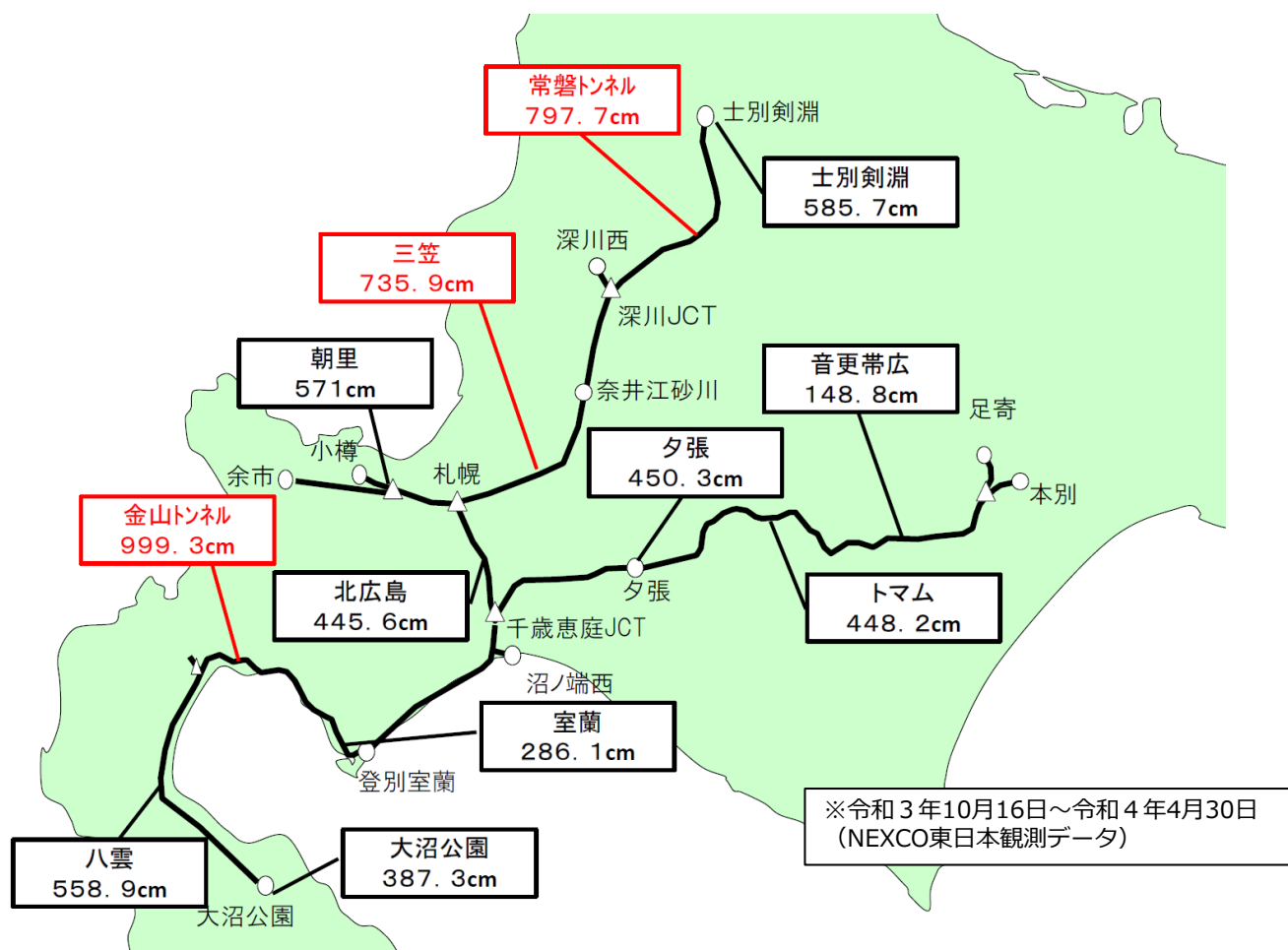
※対象期間：令和3年5月～令和4年4月、事故件数：当社調べ

冬は夏に比べて、その路面状況からハンドル・ブレーキ操作ミスによる事故が約4.3倍に増加しています。

夏と同じ感覚でのスピード・ハンドリング・ブレーキの操作は非常に危険ですので、細心の注意を払い走行をお願いします。

また、冬用タイヤ装着など早めの冬装備をお願いします。

(2)降雪状況（累計降雪量）

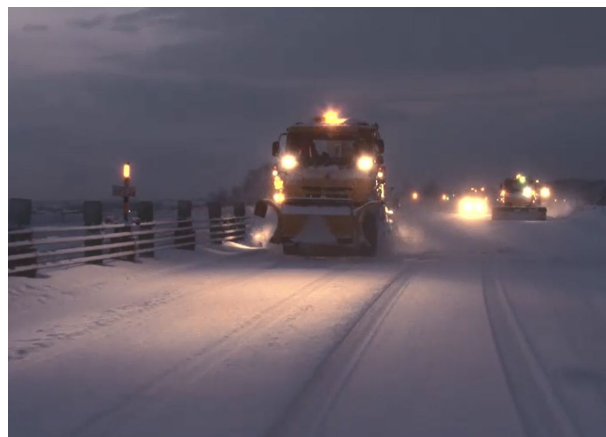


① 昨シーズンの北海道内の高速道路の平均累計降雪量は、約435.9cmでした。また、特に降雪量が多かった地点は、下記のとおりです。

- 1位 金山トンネル (道央道 豊浦IC～黒松内JCT) 999.3cm
- 2位 常磐トンネル (道央道 深川IC～旭川鷹栖IC) 797.7cm
- 3位 三笠インターチェンジ (道央道) 735.9cm

② 昨シーズンの雪氷作業にあたった作業車の総走行距離は、約26.6万km (地球約6.6周分) でした。

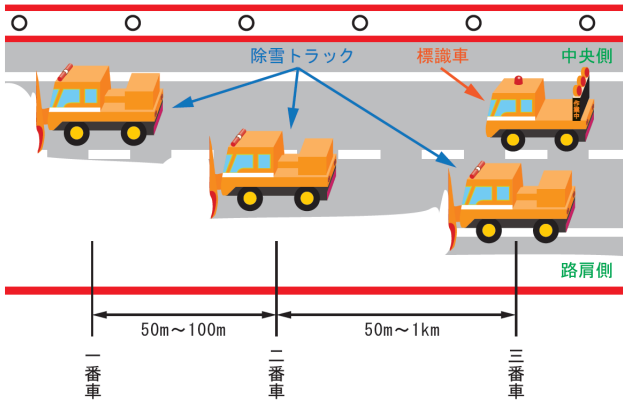
NEXCO東日本は、お客さまの安全を守るため、24時間体制で除雪作業に取り組んでいます。



NEXCO東日本の除雪作業～高速道路ならではの除雪

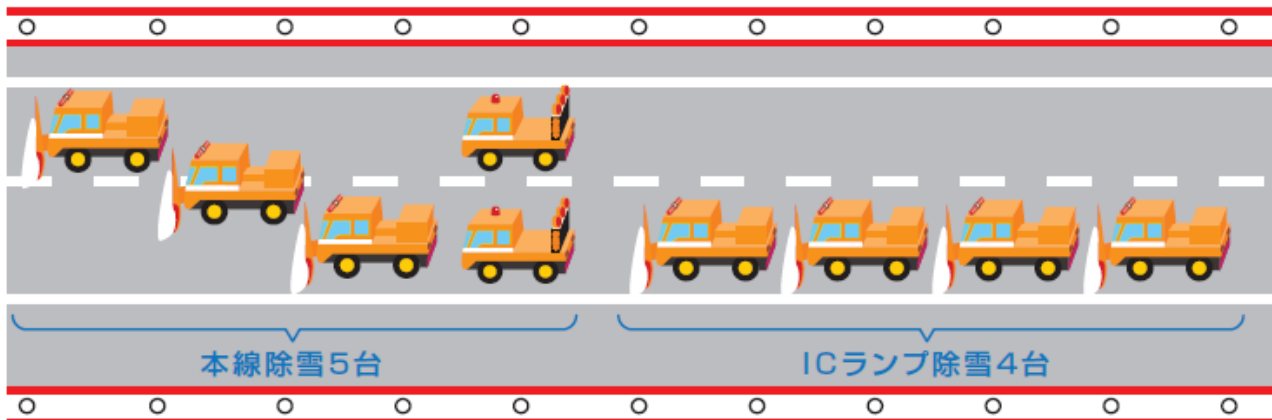
地域や降雪状況に伴い、高速道路では以下の方法で効率的な除雪作業をしています。

通常の除雪



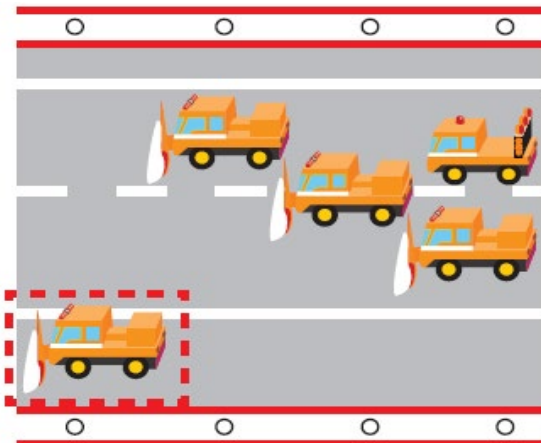
除雪トラックを3台と標識車1台を組み合わせて低速走行しながら除雪します。

重交通区間や高架区間等の除雪（マルチ除雪）



本線除雪車両とランプ除雪車両を区分することで、通常の除雪作業よりもランプ部（入口・出口）を効率的に作業ができます。特にハーフICやIC間距離が短い連続高架区間では、除雪編成を組み替えずに作業ができ作業時間の短縮ができます。

厳冬期の除雪（パワー除雪）



厳冬期に長時間にわたり大量の降雪がある場合など、車線確保のため路肩側の除雪車を1台追加し先行させ、路肩堆雪部を拡幅する作業を組み合わせた編成（5台）で一体的に除雪を行うものです。